

# 18歳意識調査 「環境」要約版

---

日本財団 2019年11月29日

# 目次

調査概要	3
「環境省」イメージ	5
環境問題について	6
環境のためにしていること	7
「パリ協定」「脱炭素」認知	8
気候変動について	9
「海洋ごみ問題」認知	10
レジ袋の価格について	11
マイボトルについて	12

# 調査概要「18歳意識調査」 -環境-

**調査対象** 全国の18歳男女  
※年齢の条件は、生まれた「年」ではなく、実年齢とする

**回答数** 1000  
※下記の割付にて回収

	18歳
男性	500
女性	500
計	1000

**調査除外** 下記の関係者は調査から除外  
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/  
情報提供サービス・調査業/広告業

**実施期間** 2019年11月7日（木）～11月11日（月）

**調査手法** インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

# 要約

---

# 「環境省」イメージ

- 「よく知らない」「具体的に何をしているか分からない」といった回答が全体の約半数を占め、「環境省」の活動はあまり認知されていない。
- イメージを挙げた人の中では、「環境保護を行っている」「地球環境について世界と話し合っている」「日本の環境問題について取り扱っている」など、多くの人が環境問題に取り組んでいるイメージを挙げた。
- また、「小泉さんのイメージ」「小泉さんが最近大臣になったところ」など、小泉進次郎大臣についての回答も目立つ。
- そのほかでは、「災害対策」「地球温暖化対策」「公害対策」などのイメージが挙がる。

Q 環境省について、どういったイメージを持っていますか？（自由回答抜粋）（n=1000）

## 環境問題に取り組む

- 原発やCO2削減による環境保護など、非常に幅広い分野を担当している省。（女性）
- 環境保護を行っている（男性）
- 自然環境保護（女性）
- 地球環境について世界と話し合っているところで、これからの日本にとって重要になる省（女性）
- 日本だけでなく、今世界で問題になっている温暖化について考えたり、日本の環境問題について取り扱っているイメージ（女性）
- 国内の環境問題に対して筆頭となり対処していく組織（男性）
- 私たちが住みやすい環境になるように地球温暖化など様々な問題と向き合ってきていると思う。（女性）
- 環境問題に取り組んでいる。（女性）
- 環境問題について対策を考えてはいるが、十分に実施出来ないと思う。（女性）
- 環境に対する政策や問題を解決する機関（男性）
- 環境についての仕事をしている、というぼんやりとしたイメージ。より具体的には、科学者と連携して環境基準を設定したり、それを破った会社などを処分しているんじゃないかというイメージです。（男性）

## 小泉進次郎さん

- 大臣が小泉さん変わったので内閣に新しい風をふかせて欲しいと思う（男性）
- これといったイメージはない。最近小泉さんが大臣になったくらいしか知らない。（女性）
- 小泉孝太郎がいるところ。何をしているかは知らない（女性）
- 小泉さんのイメージ（女性）
- 小泉さんが最近大臣になったところ（男性）
- 小泉さんが大臣してるとこ（女性）

## 災害対策

- 植林のイベントや災害時にその場所の環境について動いているようなイメージ（男性）
- 台風に対しての状況を正確に教えてくれる。（女性）
- 災害対策で頑張ってる（女性）
- 最近は災害が多くあり、会見がメディアで報道されていたので、その時の印象はありますが、それ以外で意識することは特にありません。（女性）
- 災害時に色んなことしてるイメージ（女性）
- ハザードマップや、防災に対する情報を出しているイメージ（男性）

## 温暖化対策／二酸化炭素削減

- 二酸化炭素削減とかやってそう（女性）
- 地球温暖化対策を行っている。（男性）
- 地球温暖化防止などの環境問題について取り組む機関（女性）
- 地球温暖化についての各国との協議を重ね、地球が良い方向にむけていこうと働いている。（女性）
- 日本の自然を守るイメージ二酸化炭素排出量を計算・調整・改正案を出すイメージ（男性）

## 公害対策

- 日本の行政機関のひとつ。環境の保全・整備、公害の防止など（女性）
- 公害対策などを行っている（女性）
- 原子力政策や公害対策など、自分たちの身の回りについて決めている機関なので、適当な人がいてはいけないイメージ（女性）
- 公害対策を初め、国民が暮らしやすい国づくりをしている（女性）
- 小泉氏が大臣をしている公害対策に力を入れている（男性）

## 【環境省についてのイメージ「自由回答集」】

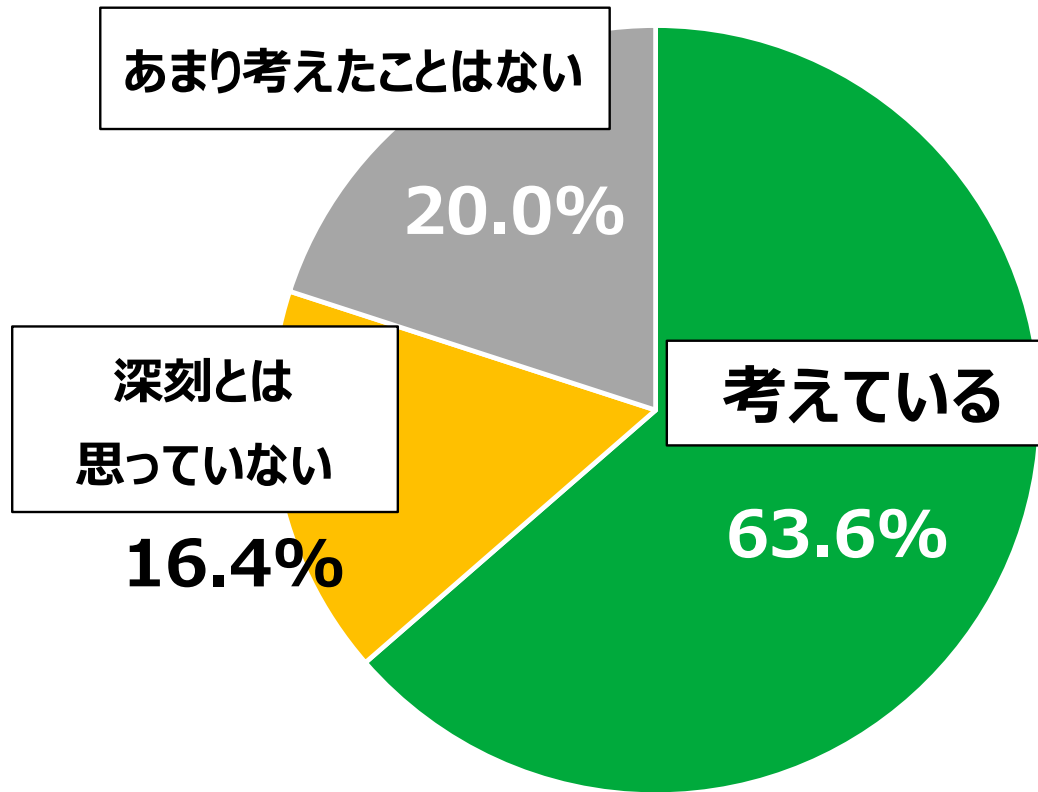
日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)

# 環境問題について

全体の63.6%が深刻に考えていると回答。

- ほか、「深刻とは思っていない」が16.4%、「あまり考えたことはない」は20.0%。

Q 環境問題を深刻に考えていますか？ (n=1000)



# 環境のためにしていること

- 環境のためにしていることとして、最も多く挙げた内容が「ゴミの分別」。そのほか、「節電・節水」、「リサイクル/3R/再利用」、「レジ袋をもらわない（もしくは使わない）」、「エコバッグを使用」といった内容が目立つ。
- 約1割は「特に何もしていない」という回答であった。

Q 環境に良いことを何かしていますか？どのようなことを行っているか、なるべく具体的に教えてください。（n=1000）

（自由回答の中で類似する内容をまとめ、カテゴリー化し集計）

・ ゴミの分別	24.8%
・ 節電・節水	18.2%
・ リサイクル/3R/再利用	10.5%
・ レジ袋をもらわない/使わない	10.9%
・ エコバッグを使用	7.0%
・ 公共交通機関を使う/車を使わない/自転車を使う/歩く	6.7%
・ ゴミ拾い/清掃（ボランティアへの参加含む）	4.8%
・ ゴミを減らす/ゴミを出さないようにする	4.8%
・ ポイ捨てをしない	4.6%
・ プラスチックを減らす/ペットボトルを買わない	2.0%
・ マイボトル/マイストロー/マイ箸を使用	1.0%
※ 上記以外では、「植物を育てる」「洗剤を使いすぎない」「油を流さない」「割り箸をもらわない（使わない）」「ボランティアへの参加（清掃以外）」「環境問題について学ぶ・調べる」「環境に良いものを買う」「食品ロス削減」などが挙がる。	
・ 特に何もしていない	12.9%

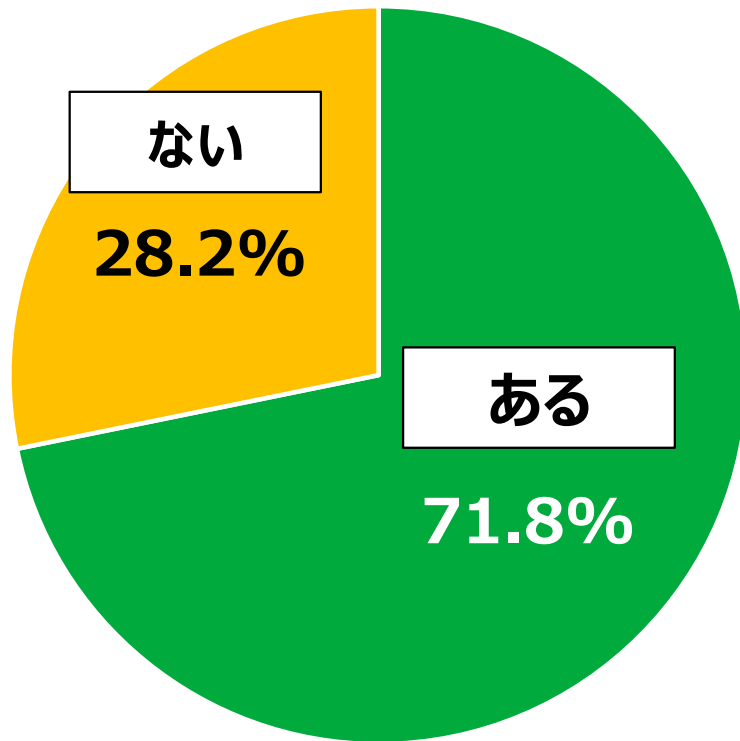
（自由回答抜粋）

- ・ ゴミの分別（女性）
- ・ ポイ捨て等をせず、しっかりと分別をしている（男性）
- ・ リサイクルできるものはリサイクルしている（男性）
- ・ 地球温暖化対策のために、無駄な電力や水を使わない（男性）
- ・ 電気、水道、出しっぱなし付けっぱなしにしない（女性）
- ・ ゴミ拾い（男性）
- ・ 公共交通機関を積極的に利用するようにしている レジ袋は、不用意に貰わない等（男性）
- ・ 環境汚染を無くすためにボランティアでゴミ掃除（女性）
- ・ 3Rを意識して生活してます（女性）
- ・ 排気ガスの出ない移動手段を使うことなど（女性）
- ・ マイストローを使っている（女性）
- ・ リサイクル。マイ箸。買い物で袋いらないます。（男性）
- ・ できるだけ水筒を持ち歩く、環境問題に関心を向ける。緑のカーテンを育てる、レジ袋を貰わないようにする（女性）
- ・ マイバッグ・紙パックのリサイクル・ペットボトルのリサイクル・紙のリサイクル・検索エンジン「Ecosia」の利用・風呂の残り湯を洗濯に活用（男性）
- ・ エコバッグ持参やゴミを増やさない、必要以上のエアコンは使わない。（女性）
- ・ スーパーで袋を貰わない。コンビニで袋を断る。割り箸を使わないようにしている。（女性）
- ・ プラスチック製品を使わない買わないようにする。電気や水の無駄遣いをしないようにする。車の利用を控える。暖房機器を使わないようにする。（女性）
- ・ リサイクルできるものを買ったり、ゴミを出さないように気をつけている（女性）
- ・ 食品ロスの削減（男性）
- ・ シャンプーなど詰め替え用があるものはそれを使用している。（女性）
- ・ なるべくペットボトルは買わない！レジ袋ももらわない！（女性）
- ・ 料理の油をそのまま流さないようにしている（女性）
- ・ 植林活動をしている（男性）
- ・ エコマークのついた商品を買うこと（女性）
- ・ なにが環境に良くてなにが悪いのか、きちんと知るようになる（女性）

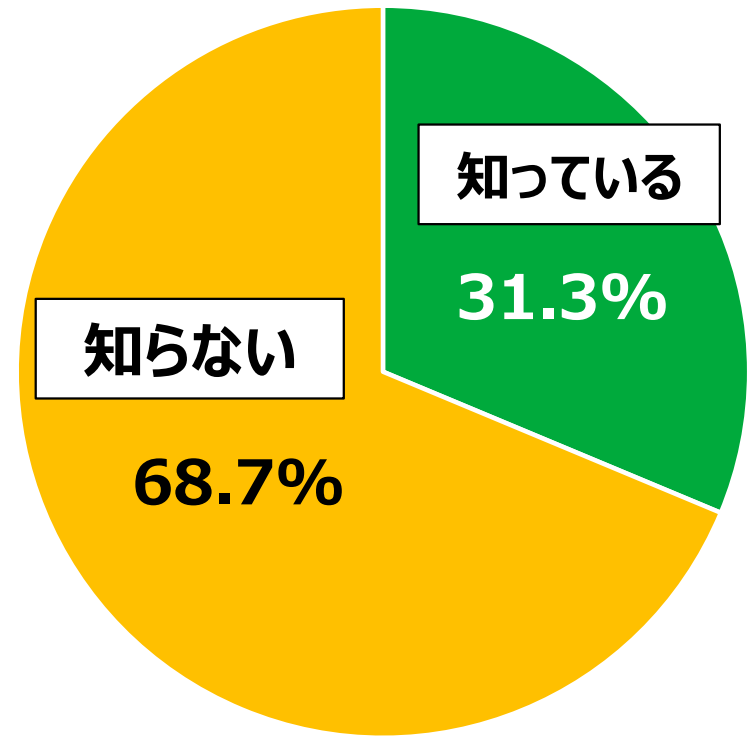
# 「パリ協定」 「脱炭素」 認知

「パリ協定」について聞いたことがある割合は71.8%。  
「脱炭素」の意味は「知らない」が68.7%となり、認知率が低い。

Q 気候変動に関する「パリ協定」について聞いたことがありますか？ (n=1000)



Q 「脱炭素」の意味を知っていますか？ (n=1000)



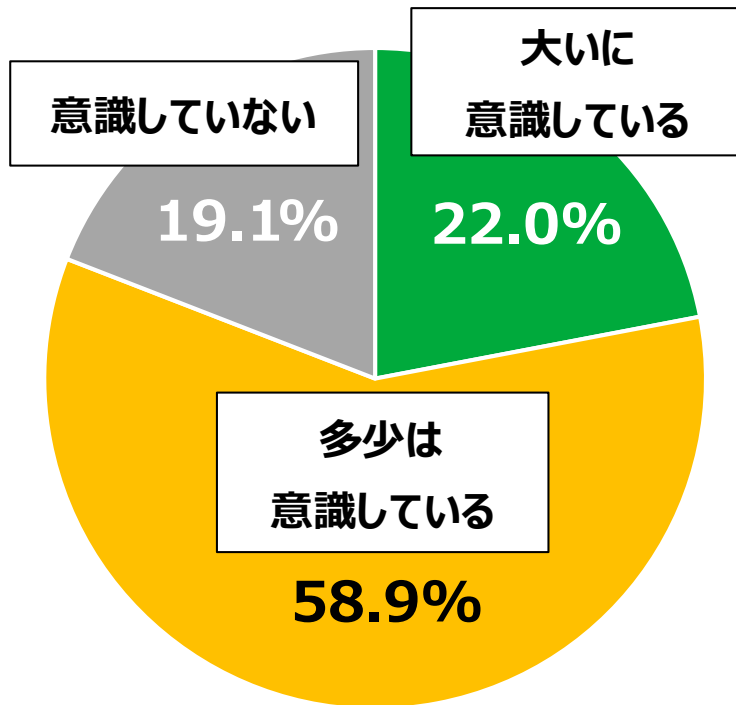


# 気候変動について

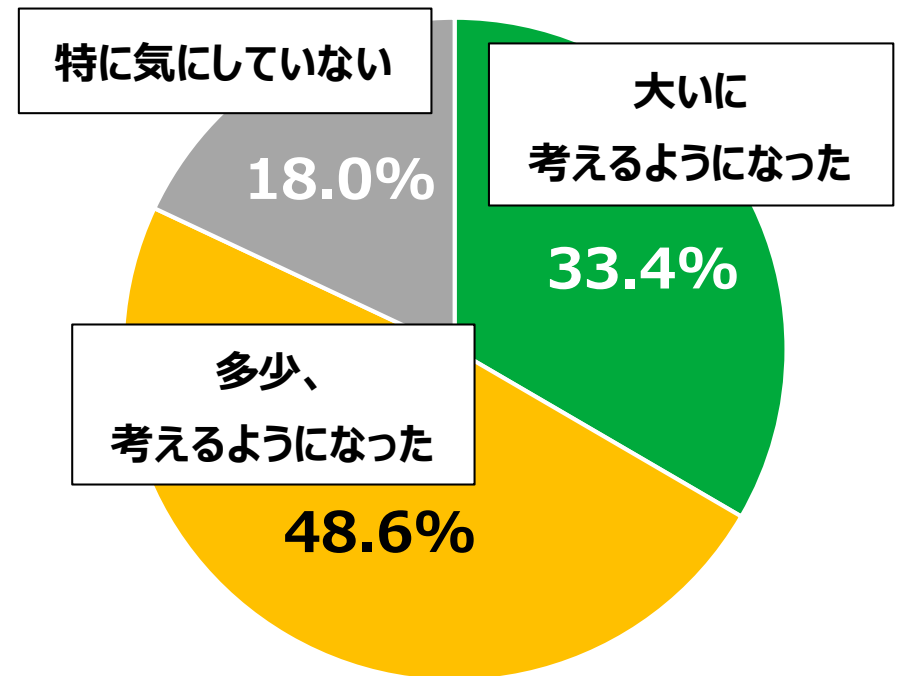
気候変動については、「大いに意識している」が22.0%、「多少は意識している」が58.9%と、約8割が意識している。

- また、最近の台風被害により気候変動を考えるようになったか、という質問では、「大いに考えるようになった」が33.4%、「多少、考えるようになった」が48.6%。約8割が気候変動を考えるようになったと回答。

Q 気候変動を意識することはありますか？  
(n=1000)



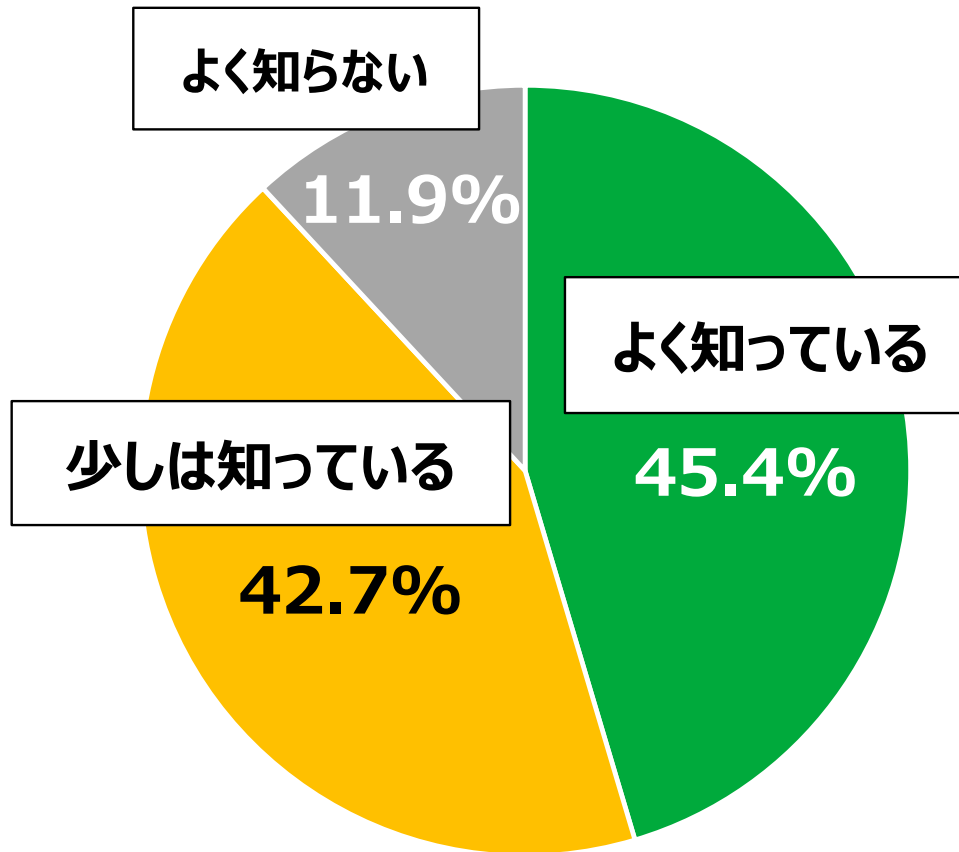
Q 最近の台風被害により気候変動を考えるようになりましたか？  
(n=1000)



# 「海洋ごみ問題」認知

海洋ごみ問題については、「よく知っている」が45.4%、「少しは知っている」が42.7%。  
約9割は認知している。

Q 海洋ごみ問題は知っていますか？ (n=1000)

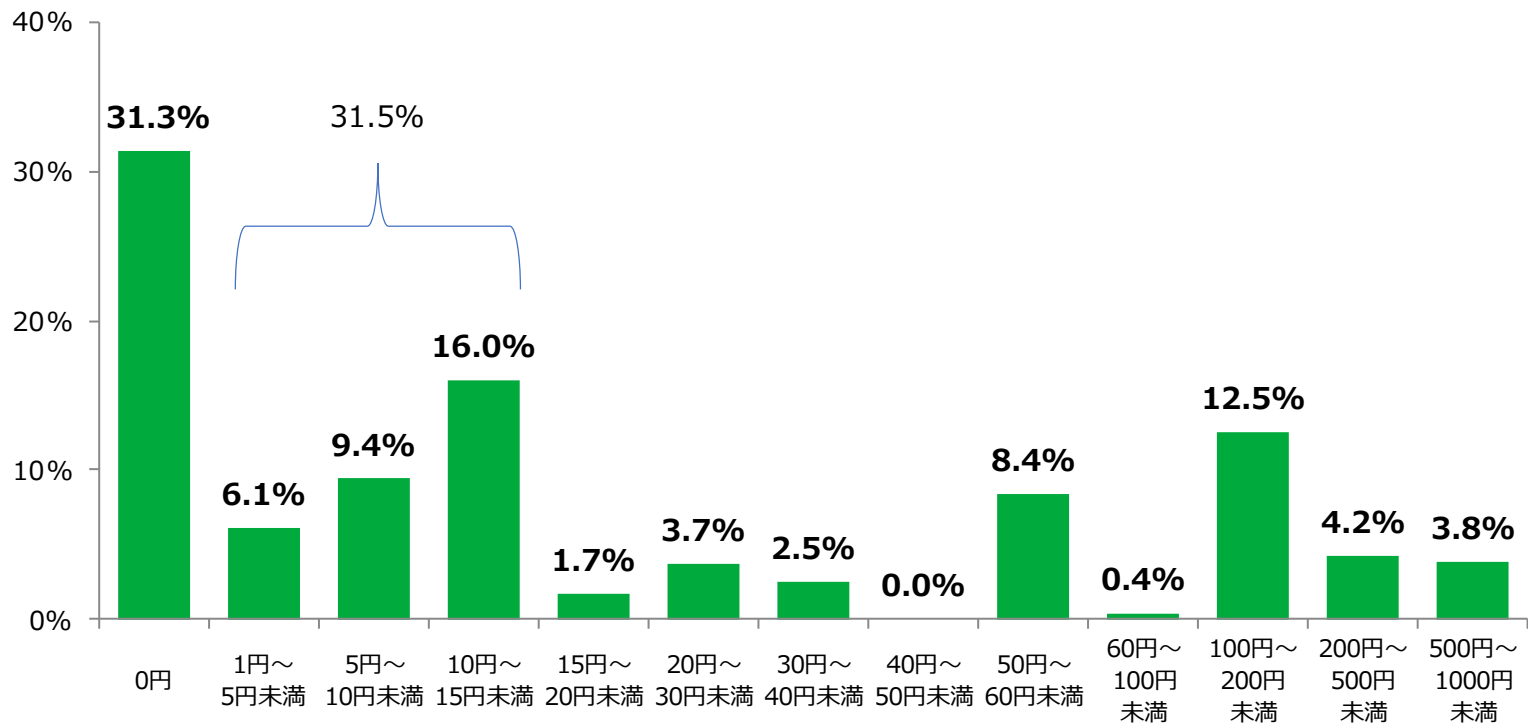


# レジ袋の価格について

「0円」が31.3%と最も多い。レジ袋が無料だったとしても、エコバッグを持とうと思う（もしくは持っている）人が約3割となる。

- 1円～15円未満の間を回答した人は、全体の約3割。

Q レジ袋が有料になる場合、いくら以上になると自分の買い物バッグ（エコバッグ）を持とうと思いませんか？（n=1000）



# マイボトルについて

全体の72.7%が、マイボトルを持ち歩こうと思うと回答。  
「既に持っている」も含めると、9割近くがマイボトル持参への意識がある。

Q 海洋ごみを減らせるなら、マイボトルを持ち歩こうと思いますか？ (n=1000)

